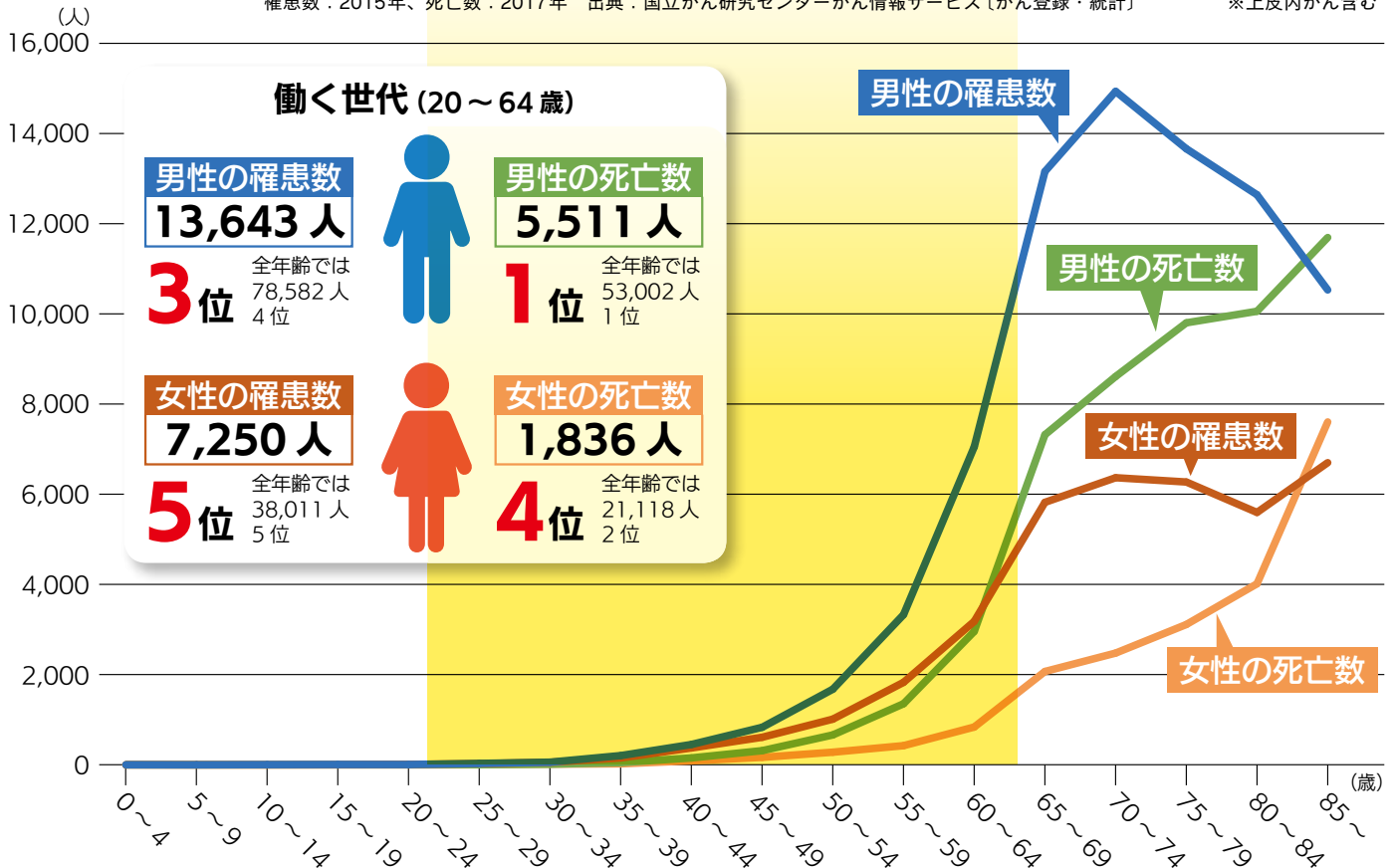


肺がんの罹患数と死亡数

罹患数：2015年、死亡数：2017年 出典：国立がん研究センターがん情報サービス〔がん登録・統計〕

※上皮内がん含む



- 肺がんは治りにくいがんで、男性は死亡数がトップ。女性の死亡数も多い。
- 男女とも罹患数は40歳代から、死亡数は男性が40歳代後半から、女性は50歳代から増えはじめる。



肺がんのリスクファクターは喫煙

肺がんの男性患者の約70%、女性患者の約20%は、喫煙が原因で発症したという研究結果があります。タバコには約70種類の発がん物質が含まれており、喫煙本数が多く、喫煙年数が長いほど、肺がんにかかりやすいといわれています。

1日に吸うタバコの本数と喫煙年数をかけた「プリンクマン指数（喫煙指数）」では、その数値が400を超えると肺がん発症の危険性が高くなり、600以上は高度危険群とされます。

タバコを吸わない人も受動喫煙によって発がん物質を体内に取り込み、肺がんの危険にさらされます。受動喫煙により、毎年約2,500人が肺がんによって死亡していると推計されています。

